

成田山だより

2022年

4  
月号

# 智光





大本山成田山新勝寺  
中興第二十二世貫首

# 岸田照泰大僧正晋山式

令和四年四月二十四日(日)厳修

岸田照泰大僧正の晋山しんざんを慶祝し、古式のりに則り御本尊不動明王への奉告とお披露目の儀式を左記の通り厳修いたします。

## 記

晋山慶祝  
御練り

時間 十時く

場所 JR成田駅前く表参道く

大本堂前

庭儀

時間 十一時く

場所 大本堂前

晋山奉告  
大護摩供

時間 十一時三十分く

場所 大本堂

大本山成田山新勝寺

成田山の法灯を継承された岸田照泰大僧正



# 優しさ

例年になく寒さ厳しい冬が去り、ようやく、待ちわびていた陽春、明るい花々が心を温かくしてくれる季節が到来した。まるで地球温暖化が嘘のように、肌を突きさす冷たくて強い風、そして殊に北日本での家々や道路に高く積もった雪の恐ろしさを感じた冬であった。

四月八日には花まつりが行われる。お釈迦さまがお生まれになった日である。色とりどりの花を飾った花御堂はなみどうの中で、右手をまつすぐに挙げて立っておられる、生まれたばかりのお釈迦さまに、みんなで甘茶をかける。

仏伝にはさまざまあるが、『ブツダチャリタ』という仏典によると、お釈迦さまはお生まれになつてすぐに、重々しく七

歩歩き、そしておっしゃった、「さとりのため、そして人びとへの利益のために、私は生まれ」と。

さとりを開き、人びとに法を説いて正しい道に導き、そしてすべての人をいかなる苦しみからも身をもって救ってあげたい、ということである。甘茶をかける手に力が入り、背筋がピンと伸びる気がする。

不動明王はすべての人びとに尽くし奉仕する奴僕みまこの行の実践を、根本の誓いとしておられる。人の苦しみを自己の苦しみとして救いたいと願うお釈迦さまの慈悲の精神を、実際に行動に移すのが、利他行りたぎょう、布施ふせであり、そしてその究極が奴僕行である。それは、私たちが常に心に

かけて実践すべき道であり、それは同時に、私たちが幸福に導いてくれる。

慈悲の心、即ち優しさには実に大きな力がある。人に優しくしてあげて相手が喜んでくれれば、自分も嬉しくなる。そればかりでなく、自分自身の体の健康に良い効果をもたらすというそれを示す、アメリカの大学で行われた実験結果がある。

血圧の高い高齢者たちが、毎週大学から四十ドルを渡され、それを他者のために使うよう指示される。例えば、誰かにプレゼントするとか慈善団体に寄付するなどである。すると、三週間後には血圧が下がった。しかも、同じ四十ドルを自分のためだけに使うよう指示された高血圧の高齢者たちに比べると、その差は歴然であったという。

春の花々が嬉しそうに咲き誇る中、大いに優しさを振りまき、助け合いながら、より健康で幸福な毎を送りたいものである。

## 成田山だより『智光』2022年4月号

- |  |   |
|--|---|
| <p>2 大本山成田山新勝寺中興第二十二世貫首<br/>岸田照泰大僧正晋山式のご案内</p> <p>4 密教經典入門 第28回</p> <p>6 月間ニュース 橋本照総大和尚一周忌法要／<br/>川越別院・福井別院新主監就任／常楽会／全<br/>国災害物故者総供養会／出世開運稲荷祭礼</p> <p>8 今を生き抜く祈りの力</p> <p>10 成田山伽藍めぐり 「一切経堂」</p> | <p>12 講社訪問 ⑥元講（千葉県）</p> <p>14 インフォメーション 御護摩祈禱／交通安全<br/>特別大祈禱会／御宝前特別祈願ほか</p> <p>20 『不動經』のんびり写経 第4回</p> <p>23 季語散策／智光俳壇</p> <p>24 出世開運稲荷祭礼献灯芳名／ご志納者芳名</p> <p>26 御護摩札郵送のご案内</p> <p>27 4月の行事カレンダー／5月の主な行事</p> |
|--|---|

# 密教經典入門

## 第二十八回

成田山仏教研究所首席研究所員

松本照敬

成田山では真言密教の教えのもと、現世利益を祈願しています。

その根底をなす『大日経』『金剛頂経』『理趣経』と弘法大師空海の諸論書を解説し、難解とされる密教の真髓を、ご信徒皆さまにわかりやすくご紹介します。

### 【即身成仏義】

も、見聞することができない。それゆえに「密」というのである。

真理そのものとしての仏があらわし出している数かぎりない一々の仏たちは、等しく無数の三密をそなえて、互いに力を加え合い、かれとこれとが支え合う関係にある。私たちの身体・言語・意の三つのはたらき、すなわち三密も、仏のそれと同様である。それゆえに、「仏と私たちとの三密が、不思議なはたらきによって、応じ合う」のであり、これを「三密加持」と名づけるのである。

もし、真言密教の修行者がおり、この意味を考察して、手に印契を結び、口に真言を唱え、意を本尊の境地に集中するならば、仏の三密と修行者の三密とが応

### 【漢文書き下し文】

「三密加持速疾顕」とは、いわく、三密とは一には身密、二には語密、三には心密なり。法仏の三密は甚深微細にして等覺十地も見聞すること能わず。故に密という。一々の尊、等しく刹塵の三密を具して、互相に加入し彼此摂持せり。衆生の三密もまたかくの如し。故に三密加持と名づく。

もし真言行人あつてこの義を觀察して、手に印契を作し、口に真言を誦じ、心三摩地<sup>①</sup>に住すれば、三密相應して加持するが故に、早く大悉地<sup>②</sup>を得。

### 【注】

(1) 三摩地 サマーデーの音写。三昧

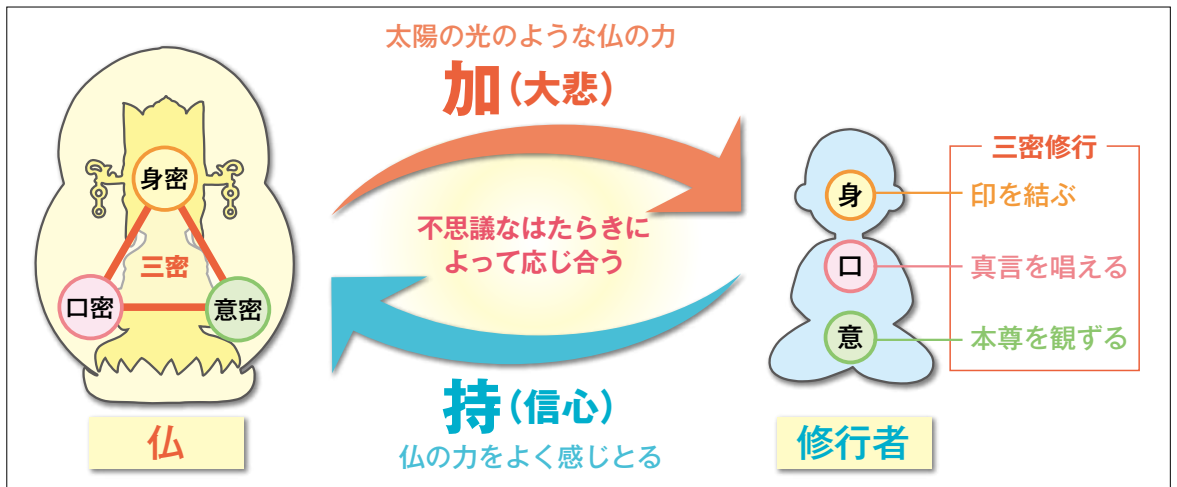
とも音写される。心を一つの対象に集中させること。

(2) 悉地 シッデーの音写。密教の修行によって得られるさとり境地。

### 【現代語訳】

「仏と私たちとの三密が、不思議なはたらきによって応じ合うとき、すみやかにさとのりの世界があらわれる」という第一句を解釈しよう。「三密」とは、第一に身体活動の秘密、第二に言語活動の秘密、第三に精神活動の秘密である。

真理そのものを体現している仏の身体・言語・意の三つの活動は、きわめてこまやかであつて、さとのりの内容が仏と等しい菩薩や、それ以下の十段階の菩薩



仏と私たちとの三密が不思議なはたらきによって応じ合うことを三密加持さんみつかじという

じ合い、力を加え合うから、早く偉大な  
さとの境地を得るのである。

### 〔漢文書き下し文〕

加持とは如来の大悲と衆生の信心とを  
あらわす。仏日の影、衆生の心水に現ず  
るを加といい、行者の心水、よく仏日を  
感ずるを持と名づく。

行者もしよくこの理趣を観念すれば、  
三密相應するが故に、現身に速疾に本有  
の三身さんじんを顕現し証得す。故に「速疾顕」  
と名づく。常の即時即日の如く、即身の  
義もまたかくの如し。

### 〔注〕

〔1〕本有の… 本来そなえもっている  
法身、報身、応身の三身。

### 〔現代語訳〕

「不思議なはたらきによって応じ合う」  
〔加持〕とは、如来の大悲と人びとの信  
心とをあらわしている。あたかも太陽の  
光のような仏の力が、人びとの心の水に  
映じあらわれるのを「加」といい、真言  
密教の修行者の心の水が、よくその仏の

日を感じとることを「持」と名づける。

修行者が、もしよくこの真理のおもむ  
きに思いをこらすならば、如来と私たち  
の三密が相應するので、この身体のまま  
で、すみやかに本来私たちがそなえもつ  
ている三種類の身体をあらわし、さとり  
を体得することができる。それゆえに、  
「すみやかにさとの世界があらわれる」  
というのである。日常、「即時」とか「即  
日」とかいうように、「即身」という意  
味も、また同様である。

### 〔解説〕

前の文では、三密修行の仕方を説いて  
いる。手に印を結び（身密）、口に真言  
を唱え（口密）、意に本尊を観ずる（意密）  
のである。この修行によって即身成仏し  
うる理由を示したのが「加持」を説明す  
るあとの文である。

三密修行によって、如来の大悲が太陽  
のように輝き、衆生の心奥がそれを映し  
出す、と説かれている。

次に、『即身成仏義』の結びの文を読  
もう。

〈次号へつづく〉



橋本照稔大和尚一周忌法要

ゆかりある多くの方々が参列

二月十八日 光輪閣

成田山新勝寺中興第二十一世貫首橋本照稔大和尚の遷化から一年となる二月十八日、大本山川崎大師平間寺藤田隆乗貫首大導師のもと一周忌法要を厳修しました。

法要には真言宗智山派芙蓉良英宗務総長、大本山高尾山薬王院佐藤秀仁貫首をはじめとする関係寺院の諸大徳、成田山奉賛



関係寺院の諸大徳や篤信が参列

会役員の皆さまほか、成田山講社役員やご信徒などご縁の深い多くの方々も参列されました。まず、大導師が回向文を奉読し、読経が始まると参列の方々が大和尚の在りし日を偲んで焼香。終わりに、成田山教聖歌合唱団が大和尚作詞による仏讃歌『明王永劫に』を奉唱し、供養の誠を捧げました。



大本山川崎大師平間寺藤田隆乗貫首大導師のもと厳修

成田山別院

川越・福井に新主監が就任

三月一日

この度、川越別院本行院では石井照典前主監の非常勤顧問就任に伴い、第十代主監として樋口照喜僧正が就任されました。

樋口僧正は、一九五九年（昭和三十四年）のお生まれ。一九七五年に成田山に入寺され、大正大学卒業後は新勝寺に勤務。布教をはじめとする伝道活動や

成田山仏教研究所の事務局を務められるなど、信徒教化と教学業務に尽力されました。二〇〇〇年（平成十二年）からは東京別院深川不動堂で法務に精励され、情報管理部長をお務めになられました。



樋口照喜川越別院主監

また、福井別院九頭龍寺では月間照孝前主監の長騰就任に伴い、第三代主監として鴫田照新僧正が就任されました。

鴫田僧正は、一九七〇年のお生まれです。一九八三年に成田山に入寺。大正大学卒業後は、新勝寺において法務に精励されました。その間、発心院の寮長として、成田山の将来を担う弟子たちの育成に努められています。一九九九年に福井別院へ移られるなど、二十二年の長きにわたって別院運営の中核を担ってこられました。



鴫田照新福井別院主監

## 常楽会

# お釈迦さまのご遺徳を偲んで

二月十五日 釈迦堂

お釈迦さまが入滅されたこの日、岸田照泰貫首大導師のもと常楽会を厳修しました。道場にはお釈迦さまのご入滅を描いた涅槃図を奉安。前日の御速夜法要では最後の教えである『仏遺教経』を誦誦しました。当日は、密厳流遍照講下総印旛教区連合会の御詠歌奉詠も行われ、参列した多くのご信徒がお釈迦さまのご遺徳を偲びました。



涅槃図を掲げて法要を厳修

## 全国災害物故者総供養会

# 犠牲者の冥福を祈る

三月十一日 大師堂

東日本大震災が発生した三月十一日に合わせ、岸田照泰貫首大導師のもと、全国の自然災害などで犠牲となった方々のご冥福を祈る全国災害物故者総供養会を厳修しました。

法要では、僧侶による読経が行われ、参詣したご信徒は御堂前に設置した焼香台で静かに手を合わせ、物故者の冥福を祈りました。



岸田照泰貫首大導師のもと厳修

## 出世開運稲荷祭礼

# 火難消除・商売繁昌を祈願

二月二十一日・二十二日 出世稲荷

出世開運稲荷祭礼は、毎年二月、二の午の日とその前日の二日間にあつて行っており、祭礼中に「出世稲荷祭禮」の朱書入り特別札を授与しています。本年は、二十二日に岸田照泰

貫首大導師のもと大法会を厳修。また同日には、祭礼への奉納として、成田市弓道協会（勝田廣義会長）主催の弓道大会が成田高等学校弓道場で開催され、約三十人が腕を競い合いました。



大法会で献花する参列者



祭礼への奉納として開催された弓道大会



# 今を生き抜く 祈りの力

近年、多発する自然災害や蔓延する感染症などにより、多くの人がびとが困難に直面しています。苦難に満ちた今を生き抜くため、至心に祈りを捧げて御本尊不動明王の御加護をいただき、幸福で平安な毎日を送りましょう。

## 心を調える

進学や就職など環境が変わる四月。どことなく不安を感じながらも、みな新たな道を歩みはじめます。

弘法大師は『般若心経秘鍵』に「迷悟我にあれば、発心すれば即ち到る」と説かれました。人の迷いも真理もすべて自分の心の中にある。故に心を正せば、忽ち光が射してくるということです。

人は先の見えない状況に陥ると不安を感じます。不安は大きなストレスとなり、体調に負の影響を与えます。

不安や迷いを感じたときは、御真言をお唱えして心を調えましょう。

## 不動明王 御真言

のーまく  
さんまんだー  
ばーざらだん  
せんだー  
まーから  
しゃーだー  
そわたや  
うんたらたー  
かんまん



携帯電話やスマートフォンで上記のコードを読み取ると御真言の音声流れます



# 私たちの誓い

## 苦難に耐えしのぶ

「私たちの誓い」は、私たち不動尊信  
仰者が、お不動さまの御教えをいただき  
て御本誓の体得につとめ、幸せな生活を  
送り、さらには心豊かな社会づくりに寄  
与するための実践行です。

今、長引くコロナ禍によって経済が冷  
え込み、さまざまな業種に暗い影を落と  
しています。特に飲食店の経営は困難を  
極め、雇用の悪化が著しく、多くの人が  
とが大きな不安を抱えています。

弘法大師は『系十九種相観想略頌文』

## 私たちの誓い 〈不動尊信仰者の心構え〉

私たちは御本尊不動明王の広大無辺の慈悲に感謝し、御本誓の体得につとめる  
ことを誓います。

- 一、御本尊さまの奴僕（わらわ）の行にしたがい、すべての人びとに奉仕いたします。
- 一、御本尊さまの絹素（けんそ）のおさとしにより、つくし合いの生活をおくります。
- 一、御本尊さまの磐石（いんせき）の決意（けつぎ）をもって、あらゆる苦難（くるなん）に耐えしのびます。
- 一、御本尊さまの燃えさかる火炎（かえん）のように、ひたすら精進努力（しやうじんどりよく）いたします。
- 一、御本尊さまのゆるぎなき御心（みこころ）を体し、精神（せいしん）の統一（とういつ）につとめます。
- 一、御本尊さまの利剣（りけん）の智慧（ちゑ）をもって正しく判断（はんだん）し、真実（しんじつ）の自己（じこ）にめざめます。
- 一、御本尊さまの加持力（かじりき）をいただき、平等（びやうどう）の利益（りやく）にあずかることを祈念（きねん）いたします。

の中で、お不動さまについて「大磐石（だいばんせき）に  
安坐（あんざ）するは、衆生（しゆじやう）の重障（じゆうしやう）を鎮（しず）むるなり」  
と説（と）われました。

重障（じゆうしやう）とは人びとの悩みの元凶（もとあく）となる貪（むだ）  
りや瞋（いか）り、愚かさといった煩惱（ぼんのう）のこと。

お不動さまは衆生の煩惱（ぼんのう）という大きな岩  
を鎮（しず）めながら、じっと耐えしのびのばれてい  
ます。そして、私たちの心が迷走（めいそう）するこ  
となく苦しみの世界（せかい）を生き抜けるよう、  
常に導（みち）いてくださっているのです。この  
御姿（おすがた）にならい、強い決意（けつぎ）と耐えしのぶ心  
を養（やしな）います、というのが第三の誓いです。  
人は困難（くるなん）な状況（じやうきやう）に立たされると気持ち  
が弱（よわ）くなり、心が不安（ふあん）に支配（しはい）されて前（まへ）  
進（すす）めなくなってしまう。今（いま）を生き抜  
くこと、活動を継続（けんじつ）していくことはとて  
も難しいことですが、苦しみから逃（に）げて  
しまつては明るい未来（みらい）はやってきません。  
強い心（こころ）を持って耐えしのぶことで、苦難（くるなん）  
を乗り越える希望（きぼう）の光（ひかり）を見つけることが  
できるのです。

苦しいとき、つらいときほど、お不動  
さまの御姿（おすがた）を心に念（ねん）じ、心の迷（まよ）いを鎮（しず）め  
て苦難（くるなん）に耐えしのび、諦（あきら）めず乗り越（こ）えて  
いく力を頂戴（ごんごう）いたしましょう。

# 成田山 伽藍めぐり

## 一切経堂



銅板葺き屋根で宝形造りの一切経堂（成田市指定文化財）



向拝柱間に架けられた水引虹梁。その上の連三ツ斗が軒桁を支えている

成田山が有する国指定重要文化財をはじめとする貴重な伽藍をご紹介します。

一切経を収めた転輪経蔵を一回転させるだけで、お経を読んだのと同じ功德を得ることができる——。この夢のようなシステムが成田山にあります。それが一切経堂（成田市指定文化財）です。現在は文化財保護のため、堂内の転輪経蔵を回すことはできませんが、経典を収蔵する建物として、七堂伽藍のひとつに挙げられることもある重要な御堂です。

### 開かない窓のある経典蔵

一切経堂は一七二二年（享保七年）の建立。宝形造りの三間四面堂で、屋根のてっぺんには塔にあるような露盤、伏鉢受花、宝珠がついています。正面にある唐破風付き向拝の鬼板上には翼を広げた孔雀を置き、向拝柱は菱形彫刻を施した几帳面取りの角柱としています。几帳面取りのような細かい仕事はきちんと正確に作業をしなければ美しく仕上がらないことから、物事をきちんと行うまじめな





もろおりさんからど

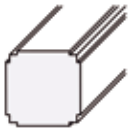
側面にも両開きの双折棧唐戸があるが、通常は正面しか開閉していない



孔雀が配された向拝唐破風上の鬼板。中央にはしゃかさんぞんほんじ 釈迦三尊の梵字、左右には龍があらわれている

### 面取りとは

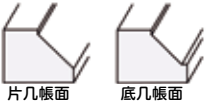
建材の角を削り取って面を作ること  
をいい、さまざまな形状がある。  
几帳面はその形状のひとつ



上図は一切経堂向拝柱の断面形状。  
下図の形状も几帳面と呼ばれる



●こんな几帳面も…



片几帳面

底几帳面



ひしがた

四面に菱形彫刻が  
施された向拝柱。  
角は几帳面取りされ  
ている



立体的な彫刻がはめ込まれている火頭窓。開閉は  
できず、一般的な窓の効用はない

人を「几帳面」と言うようになったとか。  
向拝の柱間には水引虹梁を架け、その  
柱上に連三ツ斗を置いて軒桁を支持。正  
面と左右側面の三か所に双折棧唐戸をつ  
け、四方の各面にはこの御堂を印象づけ  
る火頭窓がつけられています。  
火頭窓の形状は尖頭アーチに似た独特  
なもので、古くは寺院、城、住宅などさ  
まざまな建築に取り入れられていました。  
一切経堂の窓には引き戸がなく、中国の  
故事をもとにした彫刻がはめ込まれてい  
ます。窓の効用といえば採光や換気です  
が、この御堂の窓にはこれらの効用は一  
切なく、装飾が主眼とされています。火  
頭窓は雨仕舞いが悪いので、一般的には  
装飾的に用いられることが多いのです。  
日本に仏教が伝来した当初、寺院は中  
国建築を手本に建てられました。御堂は  
礼拝する場所ではなく仏さまのための空  
間とされ、一切経堂のように堂内に畳は  
敷かれていませんでした。その後、皇族  
や貴族が寺院内に生活を持ち込んだこと  
により、板張り、畳敷きと変化し、日本  
独自の寺院建築が確立していったのです。

## 成元講

〈千葉県成田市〉

### 門前の料理屋に受け継がれる 百四十年の不動尊信仰

**講社の歴史** 成元講は成田山の表参道で成田名物の鰻料理などを提供する日本料理店、菊屋の当主が代々講元を務める講社です。

成田山の記録によると、講社の設立は一八八一年（明治十四年）となつていますが、成元講の「元」の字は江戸時代の元号「元禄」からとつていふという話も伝わっており、本来は三百年を超える歴史を持つていふかもしれません。

菊屋の歴史も古く、江戸時代中期に当主が成田山の貫首から寺紋（現在の葉牡丹紋ではなく葉菊紋）を拝領し、既に営んでいた煮売屋（江戸時代の飲食店）の屋号を菊屋に改めたと伝わります。こ



の頃に講社を設立したとも考えられます。

さらに一八七三年には、中興第十三世貫首の原口照輪僧正から出開帳の際に、御本尊さまの厨子に掛けられていた葉菊紋の刺繍入り覆い布が贈られています。

代々の当主はこの葉菊の紋とともに、お不動さまへの信仰の証である成元講を大切に受け継いできました。

**講社の活動** 門前の表参道を拠点とする講社として、全国から参集するたくさんの方々に成田で気持ちよく過ごしていただけるよう、精一杯おもてなしすることを最も大切な活動と位置づけています。そのため成元講の総登山は、正月、五月、九月のおまいり月以外に実施。季

候の良い時期を選んで親族や知人、出入り業者の方々にも声を掛けています。大本堂の御護摩祈禱に全員で参列し、心願成就を祈つた後は菊屋に戻って懇親会を兼ねた宴席を設けています。その他、全国各地にある成田山の別院や分院にも皆で連れだつておまいりを重ねており、参加者の楽しみのひとつになっています。

### 信仰と暖簾の たすきを繋ぐ

**石橋幸太郎副講元のお話** 昨年、創立百四十周年という節目を迎え、記念登山を行い表彰状を頂戴いたしました。春先に予定していた記念登山ですが、コロナ禍の影響で十一月まで延期となり、改めて講社でおまいりできる有り難さを実感しました。久しぶりに皆で和気あいあいとおまいりをするので、思い出に残る一日となりました。

今、我々飲食の業界は未だかつて無い危機的な状況に立たされています。しかし、講元である父の時代にはバブルの崩壊や東日本大震災、先代講元の祖父の時代には太平洋戦争がありました。それで





成元講の皆さま。前列中央が石橋菊太郎講元。その左が長男の幸太郎副講元



代々の講元が営む表参道の菊屋。おまいり月や週末は参詣客でにぎわう



成田山から贈られた覆い布ししゅうに刺繍されていた葉菊紋。現在は刺繍部分だけが残る

成元講  
役員芳名 (敬称略)

講元	先達	副講元	幹事	会計
石橋菊太郎	今田 慶	石橋幸太郎	石橋真衣子	今田 万里

も、おまいりに来られる方々のために店を開けない日はなかったと聞いています。現在も時間短縮や酒類提供中止など、その時々<sup>ししゅう</sup>の要請に従いながらも、「参詣のお客さまが来てくださる限りは営業しよう」という思いで、一日も早くこれまでの日常が戻るようお願いながら頑張っています。信仰と暖簾ねんせんを守り続けることは駅伝とよく似ています。難所を走るような困難な時代にあっても次の走者にたすきを繋ぐために走り続けたいと思います。ただ単にお腹にたまるものをお出しするのではなく、成田山まいりの記憶に残る料理を提供して、参詣者をおもてなしすることを地元講社の一員として第一の目標に掲げ、今後も成元講をさらに盛り上げてまいります。

# 御護摩祈禱

皆さまのお願い事は御護摩で祈願いたします



大本堂での御護摩祈禱

## 4月の御護摩祈禱 時刻

	土・日・祝日	28日	平日
5時30分 (朝護摩)	○	○	○
9時	○	○	○
10時	○		
11時	○	○	○
12時	○	○	
13時	○	○	○
14時	○		
15時	○	○	○

成田山では毎日、御護摩祈禱で皆さまの所願成就を祈念しています。お申し込みの方には、お不動さまの御分身である御護摩札（下写真）を授与いたします。清浄な場所を選んでおまつりし、お願い事の成就をお祈りください。

# 岸田照泰貫首 成田山別院御巡錫

予告

## 川越別院本行院

4月5日（火）11時

開創169周年記念  
特別大護摩供厳修

御護摩札



小型札



木札

御護摩札の郵送を希望される方は26ページをご参照ください。

初穂料 5000円、1万円、2万円、3万円以上（特別大護摩）



# 春の全国交通安全運動 交通安全特別大祈禱会

4月6日(水)～15日(金)

# 御宝前特別祈願

毎日の御護摩祈禱で、  
お願い事の成就を祈願

春の全国交通安全運動期間中、大本堂

と交通安全祈禱殿で特別祈禱を厳修し、  
特別記念札を授与いたします。

**特別大祈禱会**

**時間** 11時

**場所** 大本堂



大本堂での交通安全特別大祈禱会

**車の特別祈禱**

**時間** 8時～16時(土・日・祝日は17時  
時まで)の毎時00分と30分

**場所** 交通安全祈禱殿(国道51号線か

ら成田山門前方面の参道に入り約20  
メートル)



祈禱殿では自動車の無事故安全も祈願

御宝前特別祈願を申し込まれますと、

お願い事と芳名を護摩壇正面に掲げ、御  
護摩の火の一番近くで皆さまのお願い事  
を祈願いたします。

**初穂料** 3万円以上

**期間** 1カ月間



大本堂の護摩壇正面にお願い事、芳名を奉安

平和大塔大法会

提灯献灯のすすめ

平和大塔は、1984年（昭和59年）に弘法大師1150年御遠忌記念事業として建立しました。

塔芯地中には、当時の日本国首相や各国元首、ローマ法王など宗教指導者からの平和へのメッセージを納めたタイムカプセルを奉安。建立以来、成田山では毎年5月6日・7日に平和大塔大法会を厳修し、世界の恒久平和と人びとの幸福を祈願しています。

大法会にあたり、御本尊不動明王との御縁を堅固にする提灯の献灯を募集いたします。

**意匠** 丸長提灯に芳名または会社名を浄書（下写真）

**献灯場所** 平和大塔周辺

**献灯料** 1灯1万円

**献灯期間** 4月25日～5月31日

**受付** 光輪閣1階 総受付、平和大塔

4月25日から5月31日まで献灯



平和大塔へ続く参道に献灯された提灯

平和大塔

御尊像納仏

のすすめ

敬虔な祈りを込めて謹刻された御本尊不動明王の御分身に、願主の芳名を浄書して平和大塔に奉安。毎日、願主の平安と繁栄を祈願いたします。

**初穂料** 10万円（納仏之証を授与）

**奉安所** 平和大塔 経蔵殿

**受付** 光輪閣1階 総受付、平和大塔



奉安した尊像におまいりすることができる



## 玉垣奉納のおすすめ

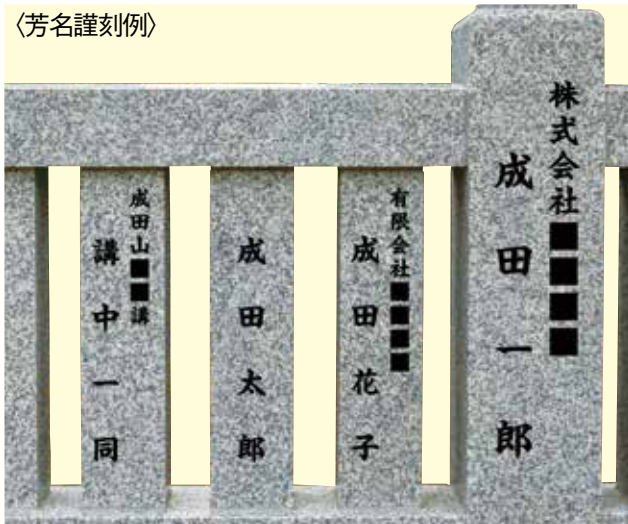
光輪閣1階総受付で受付中



大本堂後方の見晴らしの良い高台に設置された玉垣

お不動さまとの御縁を深め、心願成就を祈念する玉垣の奉納をおすすめいたします。天満宮周辺の玉垣は、参詣者往来の多い目にとまりやすい場所にあります。周囲には額堂や開山堂があり、光明堂から平和大塔まで見渡せる好位置です。

〈芳名謹刻例〉



芳名や会社名を玉垣に謹刻し、成田山境内に未永く奉安いたします。  
**奉納金** 150万円〜  
**場所** 天満宮周辺（額堂南側）  
**受付** 光輪閣1階総受付  
**詳細** 玉垣奉納係まで

## 大本堂 護摩木祈願

御護摩祈禱でお焚き上げする薪に願いを込める護摩木祈願をおすすめしています。お願事事と名前を書いて奉安すると、毎日の御護摩祈禱でお焚き上げして、心願成就を祈願いたします。

**初穂料** 500円  
**授与所** 御守受場  
**奉安所** 大本堂内



護摩木に願事事と名前を書いて祈願

## 成田山の未来を担う僧侶を育成 発心院の入寮生を募集



ほっしんいん  
発心院の道場で朝のお勤め

成田山で修行して僧侶になることを目指す発心院ほっしんいんの入寮生を募集しています。中学生や高校生のうちから修行を始め、大学卒業まで寮生活を送り、同世代の仲



他寺社を参詣するなど、見聞を広める野外活動も実施

間たちと苦楽を共にしながら仏道修行と学業に励みます。卒業後は成田山の僧侶としてお勤めします。  
詳細 発心院係まで

## 大本堂 献花のおすすめ



季節のお花をお不動さまにお供え

大本堂内正面左右の大きな献花台には、ご信徒皆さまから奉納いただいた献花料により、お不動さまに生花をお供えています。

日頃の感謝を込めて、御本尊不動明王へ生花をお供えすることをおすすめいたします。

献花料 一口 1000円  
受付 大本堂内受付



成田山書道美術館

「收藏優品展 小坂奇石と江口大象」

4月17日(日)まで

小坂奇石は、自らを「線の行者」と称し、漢籍の素養をもとにした自詠の作品を多く残しました。また弟子の江口大象は、師の精神性に触れながら、宋や明代に連なる洗練と大らかさを兼ね備えた作風を打ち立てます。

本展では、2015年(平成27年)にご本人やご遺族から寄贈いただいた、小坂奇石の作品39点及び江口大象の作品11点を公開。両者の書業を振り返ります。



なお、1階では第38回成田山全国競書大会の特別賞、優秀賞に選ばれた全作品を展示いたします。

**開館時間** 9時～16時(最終入館15時30分)

**休館日** 月曜日。祝日の場合は翌日休館

(19日～22日は展示替えのため休館)

**入館料** 大人500円／高・大学生300円／中学生以下無料(御護摩札または引換券、障害者手帳を持参の方は2人まで無料) 20人以上で団体割引(大人350円／高・大学生200円)

**詳細** 成田山書道美術館まで(電話: 0476-224-0774)

次回展示

「田近憲三蒐集拓本と近代日本の書」

4月23日(土)～6月19日(日)

霊光館企画展

「收藏品展 節句の人形」

平和大塔で4月10日(日)まで

桃の節句と端午の節句に飾られた当館所蔵の人形をご紹介します。

**場所** 平和大塔1階 霊光殿

**時間** 9時～15時30分(期間中無休)

**入場料** 無料



広島伝統工芸品、三次人形の内裏雛

# 『不動經』のんびり写經

内容を少しずつ学んで、お經に親しみながら、のんびりと写經してみましよう。(全十二回)

佛說聖不動經

爾時大會有一明王是大明王  
有大威力大悲德故現青黑形  
大定德故座金剛石大智慧故  
現大火焰執大智劍害貪瞋癡  
持三昧索縛難伏者無相法身  
虛空同體無其住處但住衆生  
心想之中衆生意想各各不同  
隨衆生意而作利益所求圓滿  
爾時大會聞說是經皆大歡喜  
信受奉行佛說聖不動經

『不動經』は成田山の御本尊である不動明王のことが説かれた經典で、長く詳しく説かれたお經と要点だけをかいつまんで説いた短いお經とがあります。

ここでは、成田山の御護摩祈禱でも誦している短い方のお經、『仏說聖不動經』の内容を見ていきます。そして、学んだ部分を写經してみてください。

少しでもいいですからお經の意味を知って親しみを持ち、写經を通して徳を積んでいきましょう。

## 第四回

大悲徳故 現青黒形  
(大悲の徳の故に青黒の形を現じ)

前節の「大威力」(前号参照)、すなわち三徳力の中のひとつ、大悲の徳が具体的に説かれている部分です。

「大悲」は大慈悲といっても差し支えありませんが、仏教では慈と悲を区別しています。日本語では慈はいつくしみ、

悲はあわれみと訓ませたりします。慈が生きとし生けるものをいつくしんでじつと見守り、涙をもって抱きかかえる母のようなはたらきだとすれば、悲は積極的に御手を差し伸べ、鉄拳をもって折檻する父のようなはたらき、といえます。

古来、青黒色は怒りの極致を表す色と伝わります。お不動さまが「青黒」色の「形」(身体、肌の色)を「現」じておられるのは、迷いによって心が素直でなく、ひねくれた者を怒りの鉄拳によってお救いくださる慈悲の活動を表しているのです。

お不動さまが内心に抱いておられる大慈大悲は、御心体の根本からにじみ出てくるもので慈悲の極点である。そして、通常の慈悲を超えて折伏の三昧にお立ちになっている。こうした忿怒至極の大慈悲の徳を示され青黒色の御姿を現しておられる。この一句には、このような意味があります。



# 大悲徳故現青黒形

## 納経の ご案内

左のキリトリ線でページを切り離し、薄く印字された文字をなぞって写経してみましよう。終わりましたら裏面を記入して成田山へ納経してください。御本尊不動明王御宝前に奉安いたします。

■ 納経先 〒二八六〇〇二三 成田市成田一 成田山新勝寺 智光編集室

Xキリトリ線



スマートフォンなどで上記コードを読み取ると『仏説聖不動経』（読み下し）読経動画にアクセスできます

お願い事

ご住所

お名前

Xキリトリ線

写経するのは筆でなくてもかまいません。サインペンや鉛筆などご自分の書きやすいものを使ってください。



# 季語 散策



## 桃の花 (もものはな)

も、の花我をわすれる月日かな

千代女

桃は、中国黄河流域一帯を原産とするバラ科の落葉木で、晩春に淡い紅色の花を枝いっぱい咲かせます。

古代中国では、豊かな香りと輝きを放

## 智光俳壇

杲風 選

● はにかみて母にかくれる冬帽子

千葉県 福智 敏枝

● 眉をかき紅さし凍と初鏡

千葉県 斎藤加代子

● ひよつこりと一羽増えたるかいつぶり

山口県 段田 晶雄

つ桃の花は、若い女性を象徴する花とされてきました。紀元前千百年頃に編纂された中国最古の詩集『詩経』に「桃の夭ようたる灼灼たる其の華はな、之の子于に帰ぐ其の室家に宜よろしからん（若々しく燃える桃の花のような娘が嫁いでゆく。嫁ぎ先の家柄に相応しい子よ）」とあり、以後の多くの漢詩に同様の表現がみられます。

女児の健やかな成長を祈る雛祭を「桃の節句」といいます。これは先の中国思想とともに、旧暦三月三日（現在の四月上旬）が桃の花が咲き誇る時期に重なるからだとされます。

野に出れば人みなやさし桃の花

高野素十

古来、陽の植物である桃は、陰の邪気を祓う霊木とされてきました。

『古事記』の伊邪那岐命が桃の実を投げつけて黄泉の雷神を退ける一節や桃太郎の鬼退治に同様の思想がみられます。

桃の花の香りで身体みの邪気を祓い、心安らかに過ごしたい春です。

砂浜の湾曲の先山眠る

神奈川県 北郷 聖

入院のシーツを伸ばす松の内

東京都 中田百合子

西の富士北の筑波の山眠る

千葉県 廣田 喬子

探梅や日差しに押され往くばかり

東京都 福田 和香

里帰り家族三代初詣

千葉県 吉村 栄祥

花屋へと風花流れ行きにけり

東京都 渡辺 一甫

幾度も小首かしげる寒雀

神奈川県 渡邊 久也

▶ハガキ1枚に5句まで、1人でハガキ2枚まで▶毎月20日締切▶印の特選者に記念品を贈呈▶選者は成田山貫首▶送り先は〒286-0023 成田市成田1 成田山智光編集室「俳壇」係

# 出世開運稲荷祭礼献灯芳名

献灯された皆さまに感謝の意を表し芳名を掲載いたします。

(順不同、敬称・重複芳名は省略)

大倉商店 倉正美 小西 亮 小西広章 石原売店 石原嗣夫 石原木俊子 佐々木義行 今井貴之 深山道子 ファミリーホ ームはなみ ずき 羽田野孝栄 坂本 豊 土井売店 いなりや売店 林 売店	大鴻 巢裕也 長谷部一泰 有限会社小川 総開社 中荃禮儀 中荃宮子 中荃博行 美谷室チエル シー松嶋 真由美 小原農園 小 原芳寿 佐藤康明 出野正則 株式会社一喜 ピーナツのき むらや	豆のふくだや 福田浩之 福田康恵 秋本貞子 毎田久美子 水野 茂 山田 屋 山田 正史 保昭 福田昌弘 林 亮輔 成田山奥山講 奥山親和会 山谷 潤 株式会社クラ ウンブラン ニング 蕎麦割烹一福	山路之洋 高喜建設株式 会社 高橋 正次 高喜建設株式 工業 有限会社調和 柴野裕太 柴野美樹 櫻井 宏 高木典男 高木典花 高木湜典 高矢幸司 関矢高史 関矢良則 小高良則 株式会社ト ケン 株式会社キー プレイヤ ズ	株式会社成田 誠尽社 株式会社大英 電業社 西本産業株式 会社 印西市 野々 村塗装 石塚雄一 三田貴彦 三田望美 白熊正一 江口 薫 株式会社翠雲 堂 ばん茶屋 川筋 勉 かんばらや 陳 玲 陳 祥 陳 清 陳 徳 ZENACO CO2(S) PTEL TD	徳原文代 第一生コン株 式会社 兩宮加奈 理想旅行株式 会社 腰塚高志 有限会社プロ ードバンド アクセス 株式会社司茂 商店 有限会社ユタ カチクサン 有限会社エス ケイカイウ ンサービス 株式会社開運 株式会社青野 商店 鳴居興業有限 会社 結婚相談所 ワイトロー ズ	有限会社龍鵬 代表取締役 矢部 孝 矢部 礼恩 江原 信 株式会社テレ ワークサー ビス 代表 取締役 森 宣人 小糸組新築講 ジュエリー工 房郡司宝石 陳 洪 株式会社新井 園本店 若松本店 米須丈倫 有限会社ジヤ スト・ニー ズ 有限会社スブ レームイ ク・サト 樋永正幸	食事処居酒屋 成田山千櫻講 成田山千櫻講 ルミエール玉 川 ヘッドライン 株式会社 株式会社アル ベロプロ 東幸開発株式 会社 大浦 弘子 大浦 敦 渡邊孝二 米屋株式会社 なごみの米屋 總本店 高橋身奈 どんぐり会 小松茂子 石橋厚美 十善護国講社 成田組 大樹興業株式 会社 長谷川秋美 長谷川大樹 長谷川良枝	成田山千櫻講 おまかせや川 口店 おまかせやわ らび店 株式会社大林 組 馬場建築設計 事務所 木村友貴 建信工業株式 会社 奥澤健二 陽 穂 民芸店さかみ ち 萩原レタリン グ・シルク 鱈こなや 寺村和晃 鬼木都智 開護台種荷大 明神 金谷利至 櫻 庭 株式会社いし けん 不動そぼ 酒井園芸 暁信不動産 栗原祐樹
---	---	---	---	---	--	--	--	--

## ご志納者芳名

文化財建造物諸堂修復事業へのご志納を賜り厚く御礼申し上げます。ご志納く  
ださいましたご信徒の皆さまに謝意を表し、芳名を掲載いたします。

(令和2年7月受付分つき〜11月受付分 敬称略)

千葉県 天明道心教会	2年7月	岩崎隆宏 大草寛子 太田利雄 大塚ひろ子 大塚正幸	小野明子 金子りつ子 川村双葉 菊池二朗 小山克己	佐藤孝志 佐藤達夫 澤木勘七 下高原美子 鈴木延秋	又ワンターラ カ 竹村三男 辻 郁久 長 崇貞昭	中村深雪 蛭田榮治 森 照森 山田光治 湯澤香代子	吉田哲夫 木村勇次 倉藤光男 高木宏美 高橋和可 土谷きよ 羽野貞治 真島繁一 原木繁一 吉澤和一輝	荒田幸吉 市村 勇 荏原スミ子 小谷和久 田中松江 沼田京子 堀井貴美子 森下茂子 矢地茂子 吉川順郭	滋賀県 西澤加奈子 西澤政男	2年8月	岩手県 苦米地恭介	奈良県 林 覚専	茨城県 栗橋正徳 沼田真一 福田しづ	群馬県 高根沢 敦	福島県 黒澤美香 小松キヌ子	徳島県 川原瑞枝	徳島県 福田しづ	徳島県 高根沢 敦	徳島県 栗原祐樹
---------------	------	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	---	--	----------------------	------	--------------	-------------	-----------------------------	--------------	----------------------	-------------	-------------	--------------	-------------





# 御護摩札

## 郵送のご案内

皆さまのお願い事は御護摩祈禱で祈願しています。お申し込みの方には御護摩札を授与いたします。御護摩札の郵送も承っておりますので、ご希望の方は下記にしたがってお申し込みください。

### 御護摩祈禱の願意

家内安全	航空安全
商売繁昌	学業成就
交通安全	合格成就
開運成就	大漁満足
心願成就	海上安全
事業繁栄	身体健全
厄難消除	健康長寿
災難消除	当病平愈
工事安全	必勝
工場安全	安産
方難消除	御礼
旅行安全	
併せ祈願（左記の願意のみ）	
家内安全	大漁満足
商売繁昌	海上安全

赤文字の願意の御護摩札は小型札です。ご希望により木札に変更いたします。

### ◆申し込み方法

左記事項をお知らせの上、御護摩初穂料を現金書留、またはページ添付の払込取扱票でご送金ください。

- ①御護摩祈禱の願意
- ②御護摩初穂料
- ③御護摩札に浄書するお名前
- ④住所・氏名（ふりがな）・電話番号
- ⑤「御護摩札郵送希望」と明記

### ◆御護摩初穂料

5000円、1万円、2万円、3万円以上（特別大護摩）

### ◆送料

木札500円、小型札300円

※御護摩初穂料の合計が1万5000円以上の場合には無料

### ◆申込み・問合せ

御護摩札郵送係まで

弘法大師ご誕生一二五〇年  
記念事業ご志納のお願い

明年、弘法大師こうぼうだいしご誕生千二百五十年を迎えるにあたり、諸堂の修復を進めてまいります。記念事業達成のため、ご信助を謹んでお願い申し上げます。

お申し込みは御護摩受付所、またはページ添付の払込取扱票をご利用ください。

### □ 写経用紙を頒布 □

『般若心経』写経用紙（3枚入り）を頒布しています。ページ添付の払込取扱票にある「写経」に丸をつけて郵便局からご送金、または公式ウェブサイト「写経セット申込フォーム」からお申し込みください。

初穂料 3000円（別途送料300円）

成田山だより『ちこう智光』

2022年（令和4年）4月号

発行 大本山成田山新勝寺  
住所 〒286-0023 成田市成田1  
電話 0476(22)2111  
FAX 0476(24)2210／信徒課 0476(23)1661

発行人 伊藤照節  
編集 成田山智光編集室

成田山新勝寺公式ウェブサイト <https://www.naritasan.or.jp>  
全国競書大会公式ウェブサイト <https://www.naritasan-kyosho.jp>

# 4月の成田山行事カレンダー

ごえんにち  
お不動さまの御縁日 1日・15日・28日

毎日	御護摩祈禱	14ページ参照	大本堂
	開運厄除御祓	8時～15時30分	釈迦堂
	交通安全祈願	8時～16時 (土・日・祝は17時まで)	交通安全祈禱殿
	お初まいり祝禱 (赤ちゃんの身体健全祈願)	8時30分～16時 (受付は15時まで)	大本堂
	病気平癒と健康長寿の祈願	8時～15時30分	醫王殿
	先祖供養／物故者供養／水子供養	11時30分・13時30分・ 15時30分	大師堂
	信仰相談 (電話受付)	8時～16時	
1日(金)	花御堂灌仏 (～8日)	6時～16時	釈迦堂前
	成田山全国競書展 第1期 (～17日)	9時～16時 (最終入館は15時30分まで)	成田山書道美術館
2日(土)	筆魂碑供養会	13時	成田山書道美術館
	第38回成田山全国競書大会授賞式	13時30分	
5日(火)	川越別院開創169周年記念特別大護摩供	11時	川越別院
6日(水)	春の全国交通安全運動 交通安全特別大祈禱会 (～15日)	15ページ参照	大本堂・ 交通安全祈禱殿
8日(金)	釈尊降誕会	10時	釈迦堂
9日(土)	第37回仏教文化講座 第8講	13時	大本堂第一講堂
17日(日)	聖徳太子報恩大法会	11時30分	聖徳太子堂
23日(土)	大本山成田山新勝寺中興第二十二世貫首 岸田照泰大僧正晋山慶祝稚児御練り	9時45分	JR成田駅前～ 表参道～大本堂前
24日(日)	大本山成田山新勝寺中興第二十二世貫首 岸田照泰大僧正晋山式	2ページ参照	
28日(木)	茶筌供養会	13時	茶筌塚

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、以下の行事を中止いたします

毎日	密教坐禪 (数息観)	受入中止
	写経	写経道場は利用中止 ご自宅で成田山写経用紙に写経して納経してください
	断食修行	受入中止
16日(土)	信徒七誓会	中止

## 5月の主な成田山行事

1日(日)	成田山全国競書展 第2期 (～31日)	8日(日)	大般若会
5日(祝)	横浜別院開創152年記念大祭	14日(土)	第37回仏教文化講座 第9講
6日(金)	平和塔大法会 (～7日)	27日(金)	御本尊上陸聖徳太子報恩大法会

上記の法要・行事は変更・中止となる場合があります。電話でお問い合わせいただくか、公式ウェブサイトでご確認ください。皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。



明日へのちから、  
なごみの思い。

極上 栗羊羹



成田山表参道

**綿** なごみの米屋

千葉県成田市上町500番地 〒286-0032

TEL. 0476-36-2031 (代)

FAX. 0476-36-1058

<https://www.nagomi-yoneya.co.jp/>